



彩の国プラチナ特別編成合唱団
ちえじゆ
第8回済州国際合唱祭招待演奏

2024 제주국제합창축제앤심포지엄
Jeju International
Choir Festival & Symposium

10 スペシャル・コンサート 実行委員会 令和6年(2024) 3月3日



合唱祭2日目(2月21日)は、ラマダプラザ済州ホテルでランチタイム・コンサート(※[こちら](#)をご覧ください)に出演したのち、いったん宿泊しているホテルリージェントマリーン済州に戻り、食事や着替えを済ませて、今回のメインステージとなるスペシャルコンサート(西帰浦アートセンター)に向かいました。

済州国際合唱祭本部から届いた招待の条件は、バス1台に乗れる人数と制限されていたため、指揮者、ピアニストに加えてメンバー19人とやや少ない合唱団となりました。

- ♪ **信じる** 詩：谷川俊太郎／曲：松下耕
- ♪ **さめない夢** 詩：岸田衿子／曲：三善晃／編曲：吉田覚・吉田和子
- ♪ **見上げてごらん夜の星を** 詩：永六輔／曲：いずみたく／編曲：三宅悠太
- ♪ **涙をこえて** 詩：かぜ耕士／曲：中村八大
- ♪ **ふるさと** 詩：高野辰之／曲：岡野貞一／編曲：信長貴富／韓国語訳：Jacob Y M Chang
指揮：南めぐみ ピアノ：草間葉月

7. **사이노쿠니 플래티넘 특별합창단(일본)** Sai-no-Kuni Platinum Special Chorus

지휘. **Megumi Minami(메구미 미나미)** 반주. **Hazuki Kusama(하즈키 쿠사마)**



이 특별합창단은 요코하마에서 열리는 국제시니어합창제인 "Golden Wave" 에 참가하기 위해 2017년 사이타마 합창연맹이 창단한 프로젝트 혼성합창단인 사이노쿠니 플래티넘 혼성합창단을 주체로 한다. "합창음악은 평생의 학문이며 함께 나이 들어가는 친구들과 영원히 노래하자, 서 있는 게 힘들다면 앉아서 노래하자, 우리의 마음을 울리는 시를 나누며 우리의 풍부한 경험을 공유하자." 라는 합창단의 표어/목표를 갖고 활동하고 있다.

프로그램掲載の写真は第12回国際シニア合唱祭ゴールデンウェーブin横浜2023の彩の国プラチナ混声合唱団

Shinjiru (Believe 믿음)

작사: Shuntaro Tanikawa, 작곡: Ko Matsushita

Samenai yume (A dream that never wakes up 영원히 깨지 않는 꿈)

작사: Eriko Kishida, 작곡: Akira Miyoshi, 편곡: Kaku Yoshida & Kazuko Yoshida

Miagete goran yoru no hoshi o (Look at the stars of the night 밤하늘의 별을 보아요)

작사: Rokusuke Ei, 작곡: Taku Izumi, 편곡: Yuta Miyake

Namida o koete (Beyond tears 눈물 넘어서서)

작사: Koji Kaze, 작곡: Hachidai Nakamura

Furusato (My hometown 내 고향)

작사: Tatsuyuki Takano, 작곡: Teiichi Okano, 편곡: Takatomi Nobunaga

「ふるさと」の三番を韓国語で歌唱!

日本を代表する曲「ふるさと」は、韓国ではさほど知られていないようです。せっかく韓国で歌うのですから、ぜひ韓国語で披露したいとのメンバーからの声を受け、代表幹事の江川善裕さんが韓国の友人である合唱指揮者Jacob Y M Chang先生に依頼し、日本語に忠実な翻訳をしていただきました。

当初は発音が難しい韓国語が通じるのか大いに不安がありました。そこで旅立つ前に「ふるさと」韓国語バージョンを韓国料理の店の韓国人に聴いてもらったところ、まあまあ通じることが判明。さらに済州に到着してから、私たちにいつも付き添ってくれた韓国人の通訳アンさんに韓国語を聞いてもらったところ、なんと、すべてを日本語の歌詞のとおり翻訳してくれました。これで自信满满です。心意気だけでなく、歌詞もまちがいに届いたと確信しています。「ふるさと」を歌い終わったあとに、素早く反応してくれた客席の韓国の皆様の拍手と歓声が忘れられません。

日本語歌詩(三番)	翻訳韓国語(逐語訳)	読み方
こころざしをはたして	내모든 뜻을 다이룬후 私のすべて 意を 成し遂げて	ネモドウン ドーツスルウ ダイ룬フ
いつの日にか帰らん	언젠가 내고향 돌아가리 いつか 私の故郷へ 帰ります	オンジェンガ ネゴヒャン ドラガリ
山はあおき故郷	나의고향 산천은 항상르고 私の故郷 山と川は いつもどおり	ナエゴヒャン サンチョンノン ハンサンプルゴ
水は清き故郷	내고향 물은 항상맑다 私の故郷の 水は いつも清い	ネゴヒャン ムウルン ハンサン マルウダ
忘れがたき故郷	잊을수없는 나의고향 忘れられない 私の故郷	イジュッス オオムヌン ナエゴヒャン

ハングルは文字、ことばではなかった！

ハングルは、韓国語／朝鮮語と同義ではありません。ハングルはあくまで「文字」であり「言葉」ではないからです。日本語が、ひらがな、カタカナ、漢字でできているように、韓国語／朝鮮語はハングルと漢字で構成されています。韓国の人が「ハングル語」という言い方を聞くと奇異に感じるというのは、日本語に対して「ひらがな語」と言われるのと同じことだからです。



ハングルは、15世紀半ばに創られた新しい文字です。「ハン」は「ひとつの」または「大きな」、「グル」は文字という意味で、合わせて「偉大な文字」となります。NHKの語学講座は「ハングル講座」であり、ニュースは「ハングルニュース」です。日本語にあてはめれば、「ひらがな講座」、「ひらがなニュース」となり、これはとても奇異な感じですが。

これらの矛盾の裏には、朝鮮半島の悲惨な歴史が大きく横たわっているといえます。北朝鮮はあっても「南朝鮮」はありえない。なぜならば、1950年に勃発した朝鮮戦争ののち半島が南北に二分され、南が韓国(大韓民国)と変ってしまったからです。南北分断の影響は、国籍のうえにも複雑に現れています。もともと朝鮮半島から日本へ強制連行されてきた人々には日本国籍がありません。在日「朝鮮人」は外国人であって、連行当時は「朝鮮」に国籍がありました。しかし、日本に連行されたのち故国「朝鮮」が

消えてしまったのです。韓国は日本と国交があるから「韓国」が国籍としてみなされますが、朝鮮民主主義人民共和国を日本は承認していないため「朝鮮」は、国籍ではなくたんなる用語ということになってまいります。



南北が統一されてしまえばこのような混乱は起きなくてすむはずですが、韓国と北朝鮮のあいだには、ほかにも多くの問題が積み重なって現在の状況になっており、ことはそう簡単ではないようです。ハングルは、創り出した文字だけにかかなり合理的にできています。もうすこし詳しいことは下記に紹介しています。

https://rkato.sakura.ne.jp/kotoba/k8_hangrugo.pdf

❖ チェジュ演奏旅行を終えて

今回の旅で心に残ったことはいくつもありますが、ひとつ挙げるとするなら地元韓国の団体に加え、ゲストとして各国から集まった出演団体の演奏は私にとって忘れられないものとなりました。それぞれが母国語とすることば、その母音の種類や発声の位置、普段生活している建物の空気、湿度、文化的なことまでも演奏を聴いて想像できるほど、それぞれの国のカラーが違って大変興味深かったです。そして各国のそれと同じように、日本の作品を演奏した私たちもまた聴衆に何か伝えられるものがあつたと信じています！

とくに最後に演奏したスペシャルステージのお客さんの盛り上がりには、グッとくるものがありました。音楽を通して、こんなにも人と人は笑い合い、手を取り合えるのだと実感できた Jeju International Choir Festivalに参加させていただけたこと、私を支えてくれた団員の皆さまと、温かく見守り信じてくれた南先生に心から感謝申し上げます。

最後に、チェジュに到着してから終始楽しくガイドしてくれたアン・キョンウンさんにも Special thanks** 私たちが前向きな気持ちで3つの舞台に立つことができたのは彼女がいてくれたからだ、全員が感じていることだと思います。3日間、感謝の旅でした。本当にありがとうございました。

くさまはづき
草間 葉月 (ピアニスト)



通訳のアン キョンウンさん(左)と



出演メンバー

指揮者	南 めぐみ				
ピアニスト	草間 葉月				
ソプラノ	小林 京子	塩崎めぐみ	早瀬 廣絵	盛谷ゆう子	
メゾソプラノ	新妻 直子	藤原 艶子	森川 真弓	山中 由香	安川 直子
アルト	池田 裕子	加藤 深雪	紀伊麻理子	佐藤満喜子	廣澤なぎさ
テナー	井川 弘毅	宇佐美平和			
ベース	江川 善裕	加藤 良一	星野 英明		

第8回済州国際合唱祭参加 彩の国プラチナ特別編成合唱団実行委員会
 江川善裕(代表幹事)、南めぐみ(芸術監督)、森川真弓(総務)、加藤良一(広報)

Back

[彩の国プラチナ混声合唱団TOPへ](#)

Home

[HOME PAGEへ](#)